



みんなのために！

毎朝、校門から「おはようございます！」「おはようございます！」と大きな声が響いてきます。登校してくる友だちに向かってペコリと頭を下げながら、大きな声で挨拶をしているのは、友情委員会の子どもたちです。

同じ頃、運動場では箒や熊手を手にした子どもたちが、クスノキの落ち葉を集めてくれています。掃除をしているのは、全校朝会での呼びかけに応じて集まってくれた朝のボランティア隊の子どもたちです。

朝の準備もあるし遊びたいだろにと思いつつながら、運動場で遊んでいる友だちの傍らで一生懸命に挨拶をしたり掃除をしたりしてくれている子どもたちに感謝の毎日です。

「世のため人のためよりも、まず自分の幸せを」といった価値観が広がったのは、80年代頃だったでしょうか。それはしだいに「人のために何かをすることは自分が損をすること」「自分が幸せになるためには、他のことはある程度目をつぶる」といった価値観に変わってしまいました。日頃の子どもたちを見ていても、「どうして私がやらなきゃいけないの？」といったことがよくあります。

日本理化学工業(株)会長の大山泰弘さんは、「人間の究極の幸せは、人に愛されること、人にほめられること、人の役に立つこと、人に必要とされることである」と話しておられます。

前述したように、今の世はとにかく自分の幸せのみを求める風潮があるように思いますが、人の究極の幸せは、人の役に立つこと、人に必要とされることであるとの指摘に、確かな共感を覚えます。昔から「世のため、人のため」という言葉はありますが、今の時代こそ、このよう

な視点をもっと大切にされる必要性を感じます。人や社会のために何ができるのか、子どもにもそのような視点をもたせて、様々な教育活動を進めていきたいと考えています。



Photo News

フォトニュース

楽しかった修学旅行



鼻の穴くぐり

小学校時代の思い出は、何と云っても6年生の修学旅行でしょう。今年も、13・14日と明日香と奈良を訪ねました。両日とも天候に恵まれ、友だちと一緒に数々の思い出をつくることができました。



明日香村をサイクリング



明日香村をサイクリングしたり、奈良公園をウォークラリーしたりしたこと。友だちと買い物をしたり、共に過ごした旅館での夜のこと。本当に楽しい二日間でした。



何をお土産にしようかな？

